

最も驚くべき本!



世界中にある膨大な量の本の中で、一冊、他に類を見ないユニークな本があります。多数の言語に翻訳され、歴史を通じて多くの人々に親しまれ、永遠のベストセラーになっている本——それは、聖書です。日本人にはなじみが薄いかもかもしれませんが、聖書は長年に渡って、多くの人々の人生を変え、支え、強めてきました。

「聖書」と聞くと、「宗教はけっこうです」という反応をする人もいますが、それは、聖書を教会の組織や団体と結びつけて考えたり、あるいは、「これをしてはいけない、あれをしてはいけない」というルールばかりの本だと考えるからではないでしょうか？ 聖書は何よりも、神から地上にいる私たち一人一人へのコミュニケーションの手段です。そのことを念頭に置いておくなら、先入感なしに聖書を読めることでしょう。

心を開いて読むならば、聖書の中に、純粋な真理や神の計画、物事がどうあるべきかを見いだすことができます。聖書が単なる宗教的な規律の本ではなく、全世界で最も素晴らしく、超自然的な驚異の本だとわかるでしょう。聖書の中には、すべてのことに対する答えがあります。この人生を生きる理由や目的、愛し幸せになる方法、状況にかかわらず心に喜びと安らぎを持つ秘訣、さらには、日々の人間関係や子育てに役立つ日常的なアドバイスまであるのです。

では、このように人を惹きつける聖書の魅力とユニークさについてご紹介しましょう。

1 聖書には、独特の一貫性があります。約1500年の期間に渡って40人以上の人によって書かれ、その著者の中には、王、農民、哲学者、漁師、羊飼、兵士、詩人、政治家、学者などもいました。人類の歴史から始まって、教訓、ロマンス、詩、格言、預言、ミステリーまでジャンルも多様ですが、それでも聖書には、一人の人が書き上げたかのような調和と首尾一貫性があり、全体を通して一つの物語が明確に流れています。その物語とは、人間に対する神の愛です。聖書は、人の手を通して書かれたものの、すべて神の靈感によって書かれたからです。

2 聖書ほど多くの人によって読まれている本はありません。その売れ行きは、歴史上のどの本をも上回っています。毎年、数え切れないほどの新書が出版され、その中からベストセラーが出てきますが、どれも長続きはしません。聖書は、そうしたどの本にもまさるベストセラーなのです。もう一つ興味深い事実は、聖書が、グーテンベルグの印刷機で最初に印刷された重要な本だったということです。

3 聖書は、かつて出版されたどの本よりも多くの言語に訳されています。2005年の時点で、全聖書は、425種類の言語で出版されており、聖書の中の一つの書、あるいはいくつかの書だけをまとめたものなら、862種類の言語で出版されているのです。

4 すべての古書と比べて、聖書は、どんな古典を10冊合わせたものよりも多くの手書きの写本が残っています。最初は朽ちる素材の上に書かれていたので、印刷機が発明されるまで何千年もの間、何度も手で書き直されなくてはなりませんでした。聖書ほど、その文体が変わらず、正確さを維持した本は、全歴史を通じて他にありません。ユダヤ人社会には、学者の中でも特別な階級があって、彼らの唯一の仕事は、聖書の数々の書を完璧な正確さをもって保存し、後の世代に伝えることでした。彼らは、再確認のために、写本ごとに子音や母音や音節や言葉の数まで数えました。原語で書かれた古代の写本が何千部も掘り出され

The Most Amazing Book!

ており、それは、聖書がまさしく最初に書かれた通りに、時代を越えて私たちに伝わってきたことを証明しています。

5 聖書ほど、悪意ある攻撃を受けながらも存続してきた本は他にありません。ローマの時代から現代の反キリストの国々にいたるまで、多くの人々が聖書を燃やし、破棄し、追放しようとしてきました。数々の聖書反対の運動や、聖書に対する厳しい非難にもかかわらず、今日なお聖書が存在し、その教えと真理が保存されてきたという事実そのものが奇跡です。

6 現代の考古学者による相次ぐ発見によって、聖書が完全なまでに正確であることが裏づけられ、証明され、それが歴史の資料となることも証明されました。旧約聖書に書いてあることについて調査をした考古学者たちは、いくつもの国々を発見し、かつて懐疑論者や批評家が架空の存在だと言ったいくつもの民族が実在したことを証明しました。事実、考古学上の発見の内、聖書に書いてある事柄を否定したり、それに疑いを投げかけるようなものは一つもなく、すべての発見がその正確さを裏づけているのです。

7 歴史上、個々の国々や民族や都市の未来について、さらに救い主となる方の到来について、正確な預言が多数記されている本は、聖書だけです。古代世界には、未来を占う手段が色々ありましたが、ギリシャ語とラテン語の文学のどこにも、遠い未来に起こる歴史的出来事を告げる明確な預言を見つけることはできません。しかし聖書には、詳細に渡る明確な預言が数え切れないほど記されており、そのすべての預言は奇跡的に成就され、実現してきました。そして、今起こりつつある、あるいは近い将来起こる、この世の終わりについての預言も記されています。

まさに驚くべき本です。聖書は、歴史が始まって以来の知恵の言葉なのです。とても重要な本で、世界で最も古い本の一つでもあります。ところが、「教養のある」人々の多くは、聖書を読もうとはせず、神からの命の言葉を見捨てる一方で、複雑でわけのわからない、膨大な知識や情報にばかり時間を費やしています。

長旅に出る時に、道を知らないならば、あなたなら地図を持っていきませんか？人生は、長旅のようなものです。だから神は、私たちが道に迷わないで目的地まで安全に行けるように、ご自分の部下に、詳しい地図を書くように指図されました。それが聖書です。

ですから、「聖書なんか読んでいない時間はない」と言う人は、「いや、急いでいるから、地図なんか見ている暇はない」と言っているのと同じです。でも、ただ聖書を読んで、信じそれに従うなら、より良い人生の道を歩んでいくことができるのです。

「神の地図」を正しく理解する一番の方法は、その真の著者である神とその御子イエス・キリストを心に受け入れることによって、個人的に著者を知ることです。あなたがまだその著者を知らないなら、どうぞ、次の短い祈りを祈って下さい。

「イエス様、今、私の心を開きます。どうぞ中に入り、私の人生の導き手となって下さい。そして、聖書をよく理解し、自分の人生に役立てることができるよう聖霊の力を送って下さい。イエスの名前で祈ります。」



Vol.5-4

アクティベート ジャパン <http://www.activate.jp> activate@activate.jp
この記事は「アクティベート誌」Vol.4 Issue 1からの抜粋です。このような読み物をさらにご希望の方はご連絡下さい。
尚、無断で転載することを禁じます。

© 2008 Aurora Production, Ltd. All Rights Reserved